

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)	所在地	伊勢市二見町松下1335
指定管理者名	二見しょうぶロマンの森維持管理組合	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
設置目的	農村地域資源を活用し農村の活性化を図る。		
業務内容	・民話の駅蘇民の運営、維持管理。 ・地元の農産、水産等の活性化。 ・管理業務報告を随時市役所に報告している。 ・例年は、年2回総会を行っているが、6月は、書面にて確認、3月のみ開催。		
施設概要	施設面積478㎡(事務所・研修室・調理室・売り場)		
職員体制	役員4名/駅長1人・事務員2人・パート10人/しょうぶ園園長1人・パート5人		
施設所管課名	農林水産課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	5,041,300	5,752,243	5,628,700	△ 123,543
		利用料金				0
		その他	148,215,381	159,857,830	156,715,067	△ 3,142,763
		計(a)	153,256,681	165,610,073	162,343,767	△ 3,266,306
	支出	人件費	30,216,629	29,583,631	30,847,553	1,263,922
		管理運営費	122,916,816	136,037,542	131,305,338	△ 4,732,204
		その他				0
		計(b)	153,133,445	165,621,173	162,152,891	△ 3,468,282
	収支差引額(a)-(b)		123,236	△ 11,100	190,876	201,976

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	インボイス制度開始により、レジ変更等による経費増加。外トイレ水漏れにより水道代増加。
----------------------------------	--

3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
農林・水産の出荷者の高齢化、または次代の担い手の不足の為、登録者が減少している。年間トータルの餅の売上が前年に比べ、100万ほど減額している。平日の餅の販売量も然りだが正月用丸餅の予約も1ウス単位が主流であったが近年では1kg単位を求める客が多数である。商品の品目を増やしたり、新たな取り組みを試行など時流の変化についての対策が求められる。	施設管理については、これまで同様、適正に行われているが、登録者減少に伴う出荷量の減少は懸念される場所である。HP等の広報媒体を活用し、新商品・旬の商品のPRを行うなど、今後も利用者増加につながる取組に努められたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	理解した上で管理運営を行っている。	A	施設の目的や基本方針については基本協定に明記されており、理解されている。
	②施設設置目的の達成度	A	近隣の住人の買い物や遠方からの観光、高齢者の憩いの場となっている。	A	施設の設置目的に沿った取り組みに努められている。
	③利用者数	B	年間売上額の減少に伴い前年度に対し2.5%減少。	B	前年度と比較し利用者が減少している。
	④運営状況	A	適正に行われた。	A	事業計画どおり運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	勤務表により職員の配置、公休は明確であり、急な人員の増減も速やかに対応した。	A	職員の配置等、適正であった。
	⑥意思疎通	A	連絡は、十分行われていた。	A	連絡は密になされている。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	連絡は、十分行われていた。	A	管理記録等は整備・保管されている。
	⑧地域の振興	B	イベント等は、人員、資金の不足により実施できず、掲示板の張り紙等で情報発信した。	B	継続して地域住民等との交流に関する取り組みを実施し、地域の振興に努められたい。
	⑨使用許可等		研修室利用無		使用許可等の実績はない。
	⑩利用料金等の徴収状況		研修室利用無		研修室の使用に対する利用料金の徴収等がなかった。
	⑪個人情報	A	適正に管理している。	A	個人情報の管理等の取扱いは適正に行われている。
	⑫法令遵守	A	厳守している。	A	施設管理上の関係法令は遵守されている。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	しょうぶ、ハスのメディア等の告知を行った。	A	引き続き、HP等も活用し、既存の顧客以外への情報発信に努められたい。
	②利用者の平等な利用	A	シフト交代時の引継ぎ、ホワイトボードのメモなどを利用して行った。	A	伝言メモにて情報共有を行い、利用者に対するサービス水準は確保されている。
	③適切な情報提供	A	店内の張り紙等のお知らせで情報提供を行った。	A	適切に情報提供が行われている。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急避難時の防災マップを提示している。緊急マニュアルも作成済み。消防訓練も行った。	A	緊急避難マニュアルを作成し、従業員の避難訓練を実施するなど適切に対応されている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	適切に対応した。継続して出荷者より販売品荷受書の提出を求め、適切な管理を行っている。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	個々の利用者ニーズには対応しているが、利用者ニーズに即した自主事業の内容を明確にしていく必要がある。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	B	役員会等でも検討いただいているが、さらなる取り組みに努められたい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的にメンテナンスをして、適切に管理している。安全面では、業者にも依頼している。	A	適正に管理されている。老朽化してきている設備については、保守点検等の計画にも取り組まれたい。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく適正に管理されている。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合の市への報告は迅速であり、適切な措置を講じている。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	こまめに清掃が行われ、清潔に管理されている。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適正であり、防犯に関するトラブルは発生していない。